

平成29年度 第6回 東海村スポーツ推進計画策定委員会会議録

1	開催日時	平成30年1月18日(木) 18時00分から20時06分まで
2	場所	東海村役場 2階 205会議室
3	出席者 (敬称略)	<p>&lt;委員&gt;                      委員長：松坂晃，副委員長：杉山章子                      塚原美光，鈴木範英，大関達也，吉沼玲子，野沢恵子，石丸美代子，小泉親彦，竹下浩一，川崎明彦，橋本礼子，久保田泰世，植田裕美</p> <p>&lt;事務局&gt;                      大内教育次長，千葉生涯学習課長，平根生涯学習課長補佐，物井生涯学習課係長，大森生涯学習課主事，東海村文化・スポーツ振興財団平根係長，丸山介護福祉課長，大内健康増進課係長</p>
4	欠席者 (敬称略)	田畑由紀子
5	公開又は 非公開の別	公開
6	非公開の理由	—
7	議題	(1) 東海村スポーツ推進計画(原案)について
8	配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東海村スポーツ推進計画(原案) *事前配布</li> <li>・施策の展開の見方 *事前配布</li> <li>・会議次第</li> </ul>
9	発言内容	<p>■委員長あいさつ                      原案がまとまった。原案を読むとこれまでのスポーツ推進計画策定委員会での議論がしっかり盛り込まれており，話し合いの成果を感じる。まだまだ考え方のバリエーションもあると思うので，より良いスポーツ推進計画ができるようにご意見をお願いしたい。</p> <p>事務局) 配布資料の説明</p> <p>■議事進行：委員長</p> <p><b>【1 計画策定にあたって】</b></p>

### (1) 計画策定の背景・目的

委員) 頁1で、公益財団法人東海村文化・スポーツ振興財団の略称を(財団)と表記しているが、「以下「財団」という。」といった表記が良いのではなか。

事務局) 修正は可能であるが、例規的にならないようにあえて(財団)のように表記させてもらった。

委員長) 表記は事務局に任せるので検討してもらいたい。

### (2) 計画の位置づけ・期間

委員) 頁2の「計画の位置づけ」で、国と県の説明はもっと簡潔にしても良いのではないか。

委員) 一般の人には国や県の動きが伝わりにくい。しっかり書いておいた方が良いと思う。

## 【2 計画の基本的な考え方】

### (1) 東海村のスポーツを取り巻く現状と課題

委員) 下から9行目の子どもの「運動能力の低下」は村内の実態を踏まえての表記か。

委員長) これは東海村というよりは一般的な話である。1980年をピークとして、昔の子どもに比べて今の子どもの運動能力はまだまだ低い。

委員) 下から10行目の「さらには、子ども達の～」の一文が長い。「運動能力の低下が叫ばれており、」で切った方が良い。

委員) 活躍している人の表記は、吉村選手と小林選手だけで良いか。

事務局) 他にも活躍している人たちが多くいるのは承知しているが、村の表彰を受けていることから、村の代表という意味合いも込めて2人の名前を明記した。

### (3) 計画の基本的な方針

委員) 「スポーツを通して人がつながり、まちが元気になる」という基本理念がある中、基本目標3でも「まちづくり」が謳われている。「まちづくり」というワードを基本

目標に入れるには概念が大きすぎないか。

委員)「地域の人たちが繋がっていく」ことを「まちづくり」という言葉で表現しているのであれば問題ないのではないか。

委員)基本理念として「スポーツを通して人がつながり、まちが元気になる」という大きな目標があり、その中のスポーツでの「まちづくり」と基本目標から読みとれるため、特に問題ないと思う。基本目標が、「スポーツ環境の基盤」についてのみになるとよく分からなくなる。

委員長)基本目標の「まちづくり」については事務局で整理してもらいたい。

#### (4) 計画の体系

委員)「スポーツきっかけづくり推進事業」の説明が唐突過ぎるように感じる。

委員)前段にきっかけづくりの重要性について説明を載せて、その関連として表記した方が分かりやすい。説明がないのであれば記載しない方が良い。

事務局)(4)は計画の体系を整理する箇所なので、新規事業である「スポーツきっかけづくり推進事業」の表記は、「3施策の展開」の中の【主な取組】に入れることとする。

委員)体系に関する説明が足りないように感じる。3つの目標とした理由も記載したほうが良い。

### 【3 施策の展開】

#### <基本目標1>

##### 施策1-①

委員)リード文に「幼稚園教諭や保育士等に対して指導者育成の取組を行う」とあるが、幼稚園教諭や保育士は当然そのようなことを学んできているのではないか。現在そのような講習会を実施していないのか。

事務局)特に村では実施していない。「指導者育成の取組」は幼稚園教諭や保育士に対する「アクティブ・チャイル

	<p>ド・プログラム」の実践力養成を考えている。</p> <p>委員) 幼稚園教諭に対しては県の保健体育課で毎年運動指導方法等の講習会を実施している。</p> <p>委員) 「また」の表記が2箇所あり、文章の流れが分かりにくくなっている。</p> <p>委員) 第2パラグラフでいきなりニュースポーツが出てくることに違和感がある。</p> <p>委員) 「遊びを通した」とあるが、遊びはニュースポーツだけなのか。</p> <p>委員長) ニュースポーツはあくまでも遊び要素のあるスポーツの一種であるので、ニュースポーツの取組みにこだわらず、遊びについての記載を強調した方が良い。</p> <p>委員) 幼児期の自由な遊びの中での動きの方が運動能力は向上する。幼少期には型にはまったスポーツをやり過ぎないほうが良い。型にはまってしまうと逆に運動能力が伸びなくなってしまう傾向がある。まずは遊びの大切さを記載し、そこからゲーム要素が高いニュースポーツへの取組みに繋げれば、伝わり易いのではないか。</p> <p>委員長) 遊びとニュースポーツの表記については事務局で修正願いたい。</p> <p><b>施策1-②</b></p> <p>委員) リード文の「興味を持たないこどもが増える中」から、文末の「きっかけづくりを支援します」という表記に違和感がある。</p> <p>事務局) ご意見を踏まえて修正する。</p> <p><b>施策1-③</b></p> <p>委員長) ここでは学校体育と社会体育をどう繋げていくのが大切と思う。</p> <p>委員) 以前、意見として出ていた「部活動指導員」は記載しないのか。</p> <p>事務局) 当初は主な取組として加えても良いと考えたが、「部活動指導員」制度の主な目的は教員の負担軽減であるた</p>
--	---

め、本計画では記載していない。

委員) 学校体育と社会体育の連携は非常に難しく、大きな議論が必要であるため、本計画では取組の必要性を述べる程度で記載しておいた方が良い。

委員) リード文4行目の「スポーツの楽しさを実感しながらスポーツを続けていける子どもが1人でも多くなるように支援します」の内容が上手く想像できない。この言葉から具体的な活動に繋げていくことはできないのではないかな。

事務局) 表現については検討する。

委員) 下から3行目の村の中で「望む活動が行えない生徒を支援する取組の検討」は良いと思う。

委員) 外部指導員制度も含め、国の方針で制度が変更される分野でもあるため、概念的な記載で良い。

## <基本目標2>

委員) 達成指標が「スポーツに関心がある人の割合の増加」で良いかな。

委員長) 達成指標には工夫が必要である。

事務局) 達成の数値も書いていないため、アンケート調査項目などからもう少し具体的な指標を設置する。この達成指標を複数設けても良いと思う。

## 施策2-①

介護福祉課長) 「障がい者」の文言を入れたい。

委員) 主な取組の「妊婦、子育て中の母親、高齢者等」の中に、「障がい者」を追加してはどうか。

事務局) 障がい者は、高齢者「等」に含んでいるとの考えであったが、「障がい者」も追記する。

委員) きっかけだけではなく、その後の「スポーツ活動の継続性」や「スポーツ活動の日常化」といった表記も必要ではないかな。

委員) 以前に会議の中で、スポーツ教室を実施したあとに

参加者同士でサークルを発足させることもあるとの話もあった。そのようなことが継続性に繋がるのではないか。

委員) スポーツの機会を提供する取組みの記載は多いが、自発的に体を動かしたくなるような要素が少なく感じる。

委員) 行政として、自発的に動いてもらうための取組みとしてできることは、「情報の発信」や「施設の整備」になってしまうことはやむを得ないと思う。

### 施策 2 - ③

委員長) 各団体間の横の連携も必要だと思うので、各スポーツ団体が集まって今後のスポーツ推進のあり方について議論できるような、例えば協議会のようなものができれば良い。

事務局) 幼少期の遊び、部活動、クラブチームという流れを作っていくためにも、各団体の連携は大事だと考えている。協議会のことも一部触れて修正したい。

## <基本目標 3 >

### 施策 3 - ②

委員) レポーター制度というのは情報収集を行うものか。

事務局) そうである。レポーターが収集した情報をポータルサイトに掲載し、スポーツに関する様々な情報が集約されていくような仕組みをつくりたいと考えている。

委員) 「広報とうかい」でも、レポーター制度のように住民が情報をアップできるコーナーを設けても面白い。

事務局) 「スポーツレポーター制度」のように、内容を理解するのに説明が必要な取組は、簡潔に注釈を入れることとする。

### 施策 3 - ③

介護福祉課長) 主な取組に「介護施設等における訪問型運動教室の開催」とあるが、介護施設だけでなく在宅も多いため、「高齢福祉と連携したレクリエーション教室の開催」のような表記にした方が良い。また、「障がい福祉と連携

	<p>した障がい者と健常者の合同スポーツ大会の実施」については、「大会」となると大掛かりなので、まずはイベントの開催やスポーツ行事の実施の方が良い。</p> <p>委員) そのような表現のほうが、活動の日常性も感じさせるのでよいと思う。</p> <p><b>【4 計画の推進にあたって】</b></p> <p><b>(2) 進行管理</b></p> <p>委員) 今後、計画を管理するために運営協議会を設置して進行管理を行っていくという理解でよいか。</p> <p>事務局) そのとおり。協議会の構成員には、基本的に現在の策定委員を中心に打診する予定でいるので、よろしく願いしたい。</p> <p>■その他</p> <p>委員) 本日の議論を踏まえ原案を修正することになるが、修正したものをパブリックコメントにかけるのか。</p> <p>事務局) 本日の議論を反映させた原案を庁内の合意形成をとる政策会議に諮り、そこでの意見を加えた計画案をパブリックコメントにかける予定である。パブリックコメントで出された意見については、次回の策定委員会で検討し、計画案の最終とりまとめとしたい。</p> <p>委員) 議会への説明はどのタイミングで行うのか。</p> <p>事務局) 他の計画では、説明のタイミングがケースによって異なっているため、今後調整していく。</p> <p>事務局) 本日欠席となった田畑委員から、生涯スポーツに関するご意見をいただいております。計画の中にも一部反映させたいと考えています。後日気付いた点等があれば、パブリックコメント終了までに随時ご連絡いただきたいと思います。また、来週開催するスポーツ推進委員協議会においても本計画を説明し、意見をいただく予定である。</p>
10 今後の予定	<p>次回の委員会は、2月下旬から3月上旬に開催予定。</p>

